

目 次

(1) 募集案内

■OFIX国際交流ボランティア募集!

■語学ボランティア(即時対応員)追加募集!

(2) 大阪国際クラブニュース OFIX奨学生卒業レポート

■申 鶴云(シン・カクウン) 中国

■洪 愛薇(アン・アイビィ) マレーシア

■エステル・トゥヴェレズ フランス

(3) OFIX国際交流員レポート

■マナー・モード

(4) OFIX事業報告

■医療通訳ボランティアスキルアップ研修を実施

(5) 留学生会館ニュース

■オリオン寮のご紹介 クリストフ ミットマン(ドイツ)

■大阪府堺留学生会館「オリオン寮」入居者募集中!

(6) OFIXネットワーク

■独立行政法人 国際協力機構(JICA)

JICAボランティア募集のお知らせ

(1) 募集案内

■ OFIX国際交流ボランティア募集!

OFIXでは、府民が国際交流ボランティア活動に参加することにより、さらなる国際理解や国際協力を促進するためのボランティア登録制度があり、主に下記の3種類のボランティアを募集しています。

1. ホストファミリー

大阪を訪れる外国人を家庭に受け入れ、生活習慣や日本の文化を理解する機会を提供します。

主に、ホームステイ(1泊2日)やホームビジット(日帰り)にご参加いただいておりますので、ホストファミリー初心者の方々にもお気軽にご参加いただけます。

2. 語学ボランティア

外国人のための生活相談や国際交流イベントでの通訳、多言語にて外国人の方々に情報提供をする際の翻訳など、多言語にわたりご活動いただいております。

3. 文化等ボランティア

着付け・茶道などの日本文化紹介や指導など、府民と外国人相互の国際理解を深めます。留学生のためのお茶会

などで、着付けなどの日本文化紹介の際のサポートをいただいております。

OFIX国際交流ボランティアは、社会貢献だけでなく様々な国の方と異文化交流ができたり、外国人の方々のサポートができるチャンスです。この機会に、あなたも貴重な体験をしてみませんか。登録制度の詳細については下記のリンクをご覧ください。

⇒http://www.ofix.or.jp/boran/index3_1.html



■ 語学ボランティア(即時対応員)追加募集!

昨年8月に、緊急的な通訳派遣や翻訳依頼など、急な活動依頼にも即時対応できる語学ボランティア(即時対応員)を募集し、36名の方にご登録いただきました。これまで、大阪府のホームページの緊急的な情報の翻訳やシンポジウムにおける通訳等で活動していただいておりますが、今回、下記言語の即時対応員を追加募集いたします。募集要領をご覧

のうえ、ご応募いただきますよう宜しくお願いします。

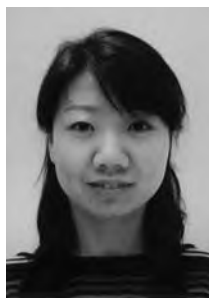
募集言語: スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、
フィリピン語、その他希少言語

募集人数: 各言語3～5名

※募集要領、応募用紙はOFIXホームページをご覧ください

⇒<http://www.ofix.or.jp/news.html#sokuji>

■ 申 鶴云 (シン・カクウン) 中国



2005年10月に来日し、2006年4月に大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻の修士課程に入学しました。2008年度から二年間、博士後期課程学生としてOFIX奨学生に採用されたことを本当に光栄と感じております。大変お世話になりました。

OFIXのおかげで、純粋な大学院の研究生活以外に、国際文化交流教育事業と日本・大阪府の様々な伝統的なイベントに参加させていただき、貴重な経験となりました。子供たちが大好きな私にとって学校訪問は、毎回大切なものでした。小学生からの活発で単純な質問、中学生、高校生からの深い考えを含む質問をたくさん受けました。私の中国紹介の発表が子供たちに大きな興味を持たせ、中日文化交流に貢献をしたと思うたびに無限の満足感が得られました。

■ 洪 愛薇 (アン・アイブイ) マレーシア

二年間を経てやっと卒業を迎えるようになりましたが、この二年間の研究生生活をしっかり支えてくれた大阪府国際交流財団や関係者たちに感謝してやみません。振り返ってみれば、涙も笑いもたくさんあった中で、苦しみや喜びを分かち合いながら共に成長してきた仲間との大切な思い出が一生の宝物になると思います。日々の生活の中で優しく接してくれた地元の方や、過去の一年に研究に協力してくださった多くの方々と深い絆で結ばれ、大阪は、もはや私の第二のふるさとの様な存在となりました。

また、OFIXのおかげでできた様々な貴重な体験、特に天神祭りの際に橋下知事と同じ船に同乗し、皆でわいわい楽しく過ごしたひと時や、留学生フォーラムに代表として他

た。ひとつ忘れないことは、文化交流講義に参加した小学生から感謝の気持ちが書かれた感想文をもらった瞬間、嬉しすぎて涙も出ました。「私は申さんの〇×ゲームに全部合っていました!」。「後にインターネットで調べて、申さんが話したアニメの名前が分かりました。」などなど、たくさんの感動を受けました。

また、日本・大阪府の文化を知ってもらうために、様々な見学を企画していただいたOFIX職員に感謝を申し上げます。パナソニックの見学、天神祭、魚セリ、竹間伐、かえる工房などなど、それぞれ意味深い活動でした。

来年度から特別研究員に採用されましたが、続いてOFIXの国際文化交流教育事業を含め、様々な中日文化交流活動に参加できればと思います。また5年近くの大阪での暮らしの経験を生かして、大阪を初めて訪ねる外国人のためにもいろいろ力を尽くそうと思います。

の大学からの学生たちと交流し真剣に取り組んだこと、それから私たち留学生のために行われた防災訓練などに教わった日本社会の精神など、私の留学生生活を一層有意義で充実したものにしてくれました。

修士卒業後もまた進学する予定ですが、今後とも地元の人々とかかわり合いながら、お互いのためになるように良い関係を築き続けていきたいと思っています。これまでいろいろと本当にありがとうございました。



■ エステル・トゥヴェレズ フランス



今年の3月に化学専攻の修士号で大阪府立大学を卒業しました。約3年間日本に住んでいます。大学では、研究室でたくさん実験などをしましたが、たまの休みには、日本各地を旅行しました。東京、札幌、奈良、神戸、京都、広島、沖縄等多くの都市を訪れることができました。中でも私の一番のお気に入り、文化的都市である京都や奈良に近く、海にも面している大阪です。この充実した3年間の留学生活は、OFIXのサポートがあったからこそ実現したと思います。

また、OFIXは、様々な人々に出会う機会も与えてくれました。例えば、国際理解教育事業では、フランスに興味がある学生に出会い、話しをする中で彼らのフランスについてのイメージを知ることができました。また、フランス語を勉強している人やフランスに行ったことがある人とも、知り合う機会がありました。私にとって一番面白かったことは、フランスと日本の違いについて幅広い様々な意見を出し合うことによって、私自身が日本についてより深く知り、さらに好きになることができたことです。

卒業後何をするかは、まだ決めていませんが、できればフランスと日本の架け橋として貢献できるような仕事がしたいと思っています。

(3) OFIX 国際交流員レポート

■ マナー・モード

皆さんこんにちは、OFIXのリチャードです。私は、日本での滞在期間が長いので、できるだけ日本の礼儀作法に気をつけるようにしていますが、まだまだ無意識に失礼なことをしていると思います。世界的に日本は、比較的礼儀やマナーに厳しい印象があり、日本を訪れる外国人は失礼な行動をとらないようかなり気遣っているのではなかとと思います。

だから、今月はイギリスと日本のマナー、礼儀、ルールなどについて話したいと思います。日本に来た観光客が経験する一番典型的なマナーは、家に入る時に靴を脱ぐことです。やはり、これに慣れるのは時間がかかり、日本に7年間住んでやっと私はある程度慣れてきたと思います。もちろんイギリスでも、家に帰ったらスリッパに履き替えることが多いです。ただ来客時には、裸足かスリッパのままでは失礼ですから、必ず靴に履着替えて迎え入れなければいけません。

私の母が、日本に来た時、非常に気になったのは道で鼻をかむことでした。一体どこで読んだのかわかりませんが、日本では人の前で鼻をかむことが失礼だと思っていたようです。確かにあまり良くはないですが、そんなに気にしなくてもいいと伝えました。そんなに失礼なことだったら、いつも道でティッシュを配ってはいないでしょう！個人的にまだ慣れないことは、くしゃみをして周りの人々が無口なことです。イギリスでは礼儀として「Bless you.(お大事に)」といった一言を言わないといけないからです。

やはり食事の時のマナーの違いが、一番面白いと思います。もちろん日本にいるから「郷に入れば郷に従う」で生活していますが、食事の時はどうしてもイギリス人に戻ります！例えば、うどんを食べる時には、どうしても音をたてられませ

ん。周りの人がおいしそうに音をたてながら食べていても、私は1人静かに食べます！他には、日本では皿を持って口に近づけるのが一般的ですが、イギリスでは絶対ダメです。実は今でも、見ていると少し不快に感じる場合があります！また日本では道や地下鉄などで物を食べる人が少なく、ごみもちゃんとごみ箱に捨てるのが素晴らしいと思います。イギリスもそうなって欲しいです。

電車のマナーについては、日本とイギリス両国の少し残念な共通点は、優先座席を無視することですね。年配の方、妊婦さんなど席が必要な方が乗ってきても、座っている人が寝たふりをして席を譲らないことには、いつもびっくりします。両国に優先座席が設けられたこと自体が、自ら気づいて席を譲るとい礼儀が失われてきた社会の証明ではないでしょうか。

もちろん、うどんの音をたてたり、靴を脱いだり等は文化の違いで説明がつきます。どちらが正しいかという話ではなく単なる文化の違いで、外国に住むと非常に勉強になり、個人的には興味深いことです。ただ、ドアを支えてあげることや、電車で席を譲ることは、文化の違いとはあまり関係ないと思います。文化とは関係がなく、自然にできるべき礼儀です。逆に、他人に迷惑をかけないという文化的礼儀のために、人としての当たり前の礼儀を忘れてしまうことがあると思います。例えばイギリスと日本では、電車などで静かに過ごすことが一般的なので、知らない人に「どうぞ」と席を譲るのが恥ずかしいのかもしれませんが。私からすると、立ったままで困っている人に「どうぞ」と席を譲らない方がずっと恥ずかしいことだと思います。

(4) OFIX 事業報告

■ 医療通訳ボランティアスキルアップ研修を実施

OFIXでは、日本語による意思疎通の困難な外国人が安心して医療を受けることができるよう、府内における医療通訳サービスの充実を目指し、医療通訳ボランティアスキルアップ研修を実施しました。

研修は、3月7日(日)に行われ、府内で医療通訳ボランティアとして活動されている方を中心に、44名が参加されました。参加者は、医療通訳の現状に関する講義のほか、通訳の際に基礎知識として必要となる日本の医療・福祉制度、病院における通訳の流れやポイントについて、具体的な講義を受けました。

また、「よりよい医療通訳を行うために」というテーマでグループワークを行い、医療用語・医療知識の勉強の仕方や、通訳上の注意点など、それぞれが活動してきた経験などをもとに意見交換を行い、グループごとに発表することで、知識やノウハウのシェアを図りました。研修後のアンケートでも、「現場でぶち当たった具体的な問題をどう解決したかなど、具体的事例を数多く聞けて非常に参考になった。」「現場の経験をお互いに話しあったことは、そんなこともあるのかと、お互い理解し合えてよかった。」といった声が多く、参加者にとって非常に有意義な研修となりました。



講義の様子



グループワーク意見交換



グループワーク発表

